

「暮らしを幸せシフト」する答えがここに!!

Messages

人や自然とのつながりを取り戻す暮らし方を

本当の豊かさは、これまでの「より速く・より大きく・より多く」に替わる、3つの「S」(スロー・スモール・シンプル)の中こそある。3・11後の今、ヘレナの映画に導かれて、幸せへと「降りて」ゆこう!

辻信一 (文化人類学者、環境運動家)

私にとってのローカリゼーションは、自分が生きる場所を定め、その場所を愛すること。そして地域の人達とつながりがあること。

「ローカリゼーション」は世界をつなぐ普遍的なテーマだと思えます。素晴らしい映画でした。

鎌仲ひとみ (映画監督)

「幸せ」と「経済」と「社会」の連立方程式を解く大きなヒントがここにある。持続可能性を探るならローカリゼーションの彼方にあるの何か……? この映画を見ながら、きっとわくわくすることと思う。

枝廣 淳子

地域で繋がりが合おうという大事なキーワード「ローカル」をしっかりと心に落としこんでくれる素晴らしい映画です。

キーワードは「Go local!!」

丹羽順子(koko)

J-WAVE LOHAS SUNDAY ナビゲーター



監督
ヘレナ
ノーバーク
=ホッジ

スウェーデン生まれ。世界のローカリゼーション運動のパイオニア。ISEC (International Society for Ecology and Culture) 創設者、代表。1975年、言語学者としてインドのラダック地方に入り、ラダックの人々と共に、失われつつある文化や環境を保全するプロジェクトLEDeGを開始。この活動が評価され、もう一つのノーベル賞と知られるライト・ライブラリ賞を1986年に受賞。ダライ・ラマ法王の訪問も受けている。著書「ラダック懐かしい未来」は40ヶ国語に翻訳されたベストセラー。

3.11を境に、大きく変わった日本。電気を湯水のように使うまでの生活から、「つながり」を取り戻す豊かさを喜ばしへ一歩踏み出してみませんか? この映画「幸せの経済学」には、新しいライフスタイルのヒントがたくさん示されています。

- Q. 7代先の子孫たちが幸せに暮らせる、持続可能なライフスタイルとは?
- Q. 誰もが主役になれる、個々のアイデンティティが大切にされるコミュニティの形とは?
- Q. GDP成長の限界? 人が幸せになる経済とは?
- Q. ローカルフードは、なぜ人を幸せにするのか?
- Q. エネルギーのローカル化で、原発のいらぬ世界はつくられるのか?



「国産の持続可能な食料」

Keywords

これからのライフスタイルをつくるキーワード、「ローカリゼーション」

「幸せの経済学」は、開発という名の消費文化に翻弄されるラダックの人びとの姿を追い、世界の環境活動家たちが「本当の豊かさ」について説くドキュメンタリー映画。民族紛争や異常気象、多様性の損失、失業、アイデンティティの崩壊など、ローカリゼーションの拡大が引き起こす問題について述べながら、これらの解決の糸口となる「ローカリゼーション」について語ります。行き過ぎたグローバル化から離れ、切り離された人や自然とのつながりを取り戻し、絆を強めていく世界各地のコミュニティや、ローカルムーブメントの成功事例も登場します。3・11という大きな震災を経験した私たちが、どうやって持続可能で幸せな暮らしを作っていくでしょうか? 真の豊かさ、幸せとは何でしょうか? この映画は、幸せに暮らすためのさまざまなヒントを私たちに与えてくれます。

Happiness

あなたは、人生の「豊かさ」を、今まで世界では、経済成長することが豊かな国の証だと信じられてきました。しかし、物質的に十分に満たされているはずの現代でも、人びとの「幸福度」は1956年をピークに下がり続けています。どんなものさしではかりますか? 「幸福度」は1956年をピークに下がり続けています。そんな中、ブータン国王が「国民全体の幸福度」を示す指標「GNH」(GNPのPP = ProductをH = Happinessに置き換えた造語)を提唱したことにより、多くの人が「モノ」ではない豊かさについて関心を持ち始めました。「幸せ = 物質的な豊かさ」ではなく、今こそ、経済成長の追求に代わる新しい「豊かさ」を考える時なのではないでしょうか。



龍村ゆかり
映画「地球交響曲」プロデューサー

the Economics of Happiness 幸せの経済



今、問われる幸せとは? 真の

監督: ヘレナ・ノーバーク=ホッジ (「ラダック懐

2012年6/9 (土) ~ 6/15 (金)

上映協力団体
土曜の文化センター